

まちづくり交付金 事後評価シート
柄沢地区(結果)

平成20年12月

神奈川県藤沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	藤沢市	地区名	柄沢地区			面積	64.4ha
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	5,706	国費率	0.4		

1)事業の実施状況		事業名								
		当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		提案事業		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		当初計画から削除した事業	基幹事業		提案事業		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		新たに追加した事業	基幹事業		提案事業		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		交付期間の変更	当初		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	土地区画整理事業施行区域における地区内居住者数	人	2,400	H16	3,050	H20		3,039	△	あり なし	土地区画整理事業の進捗に伴い地区内居住者数も着々と増加傾向となった。また、評価値については目標値の99%であり概ね達成できている。	平成21年5月1日
指標2	土地区画整理事業施行区域における有効利用された空地の面積	ha	10.0	H16	31.0	H20		30.4	△	あり なし	土地区画整理事業の進捗に伴い有効利用された空地の面積も着々と増加傾向にあった。また、評価値については目標値の98%であり概ね達成できている。	平成21年5月1日
指標3	新規住宅等着工件数	件	373	H16	610	H20		732	○	あり なし	土地区画整理事業の進捗に伴い新規住宅等着工件数も着々と増加した。	平成21年3月31日
指標4	土地区画整理事業施行区域における一人当たりの公園・緑地面積	m ² /人	0.7	H16	7.0	H20		4.3	△	あり なし	目標値は達成できなかったものの、藤沢市全体の一人当たりの公園面積4.5m ² /人と、ほぼ同等となった。	平成21年5月1日
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	区域内における防災無線の届く面積	ha	55.4	H16				64.4			良好な居住環境を支える地域防災力の強化が図られた。	平成21年5月1日
その他の数値指標2	区域内における下水道の整備率	%	67	H16				93			下水道の整備により、総合的な都市基盤整備が図られた。	平成21年5月1日
その他の数値指標3												

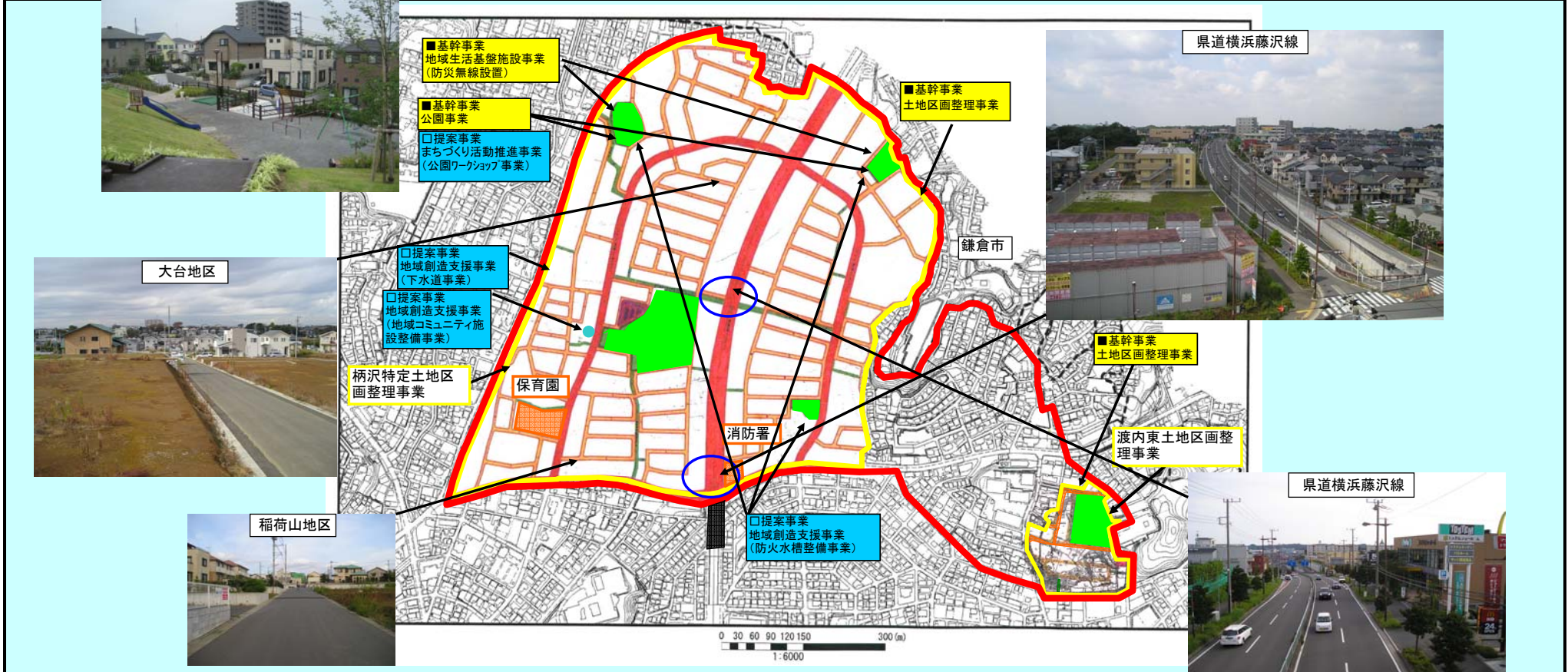
4)定性的な効果発現状況
 ・整備した公園においては、公園ワークショップ形式を用い、住民主体で計画を作成したので、整備した公園がより身近に感じられ、地域住民同士の対話の機会が増えて地域交流の場となった。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
モニタリング		土地区画整理審議会の中で事業効果や事業の進め方などについて意見を求めた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後においても、土地区画整理審議会の中で事業効果についての評価などについてモニタリングを実施する。	
住民参加プロセス		平成18年度には鞍骨公園ワークショップ事業、平成19年度には大台公園ワークショップ事業を実施した。	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	未整備の公園についても、今後、公園ワークショップを開催する予定である。	
持続的なまちづくり体制の構築		なし	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		なし	

様式2-2 地区の概要

柄沢地区(神奈川県藤沢市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
「～潮風そよぐ湘南の丘～ 誰もが住み続けたいくなる良好なまち」 ※良好な居住環境の整備により職住近接したまちなか居住を推進するため、藤沢南部地域におけるスプロール市街地の解消を図る	土地区画整理事業施行区域における地区内居住者数	単位:人	2,400 H16	3,050 H20	3,039 H20
	土地区画整理事業施行区域における有効利用された空地の面積	単位:ha	10.0 H16	31.0 H20	30.4 H20
	新規住宅等着件数	単位:件	373 H16	610 H20	732 H20
	土地区画整理事業施行区域における一人当たりの公園・緑地面積	単位:m ² /人	0.7 H16	7.0 H20	4.3 H20



まちの課題の変化	スプロール市街地の解消、脆弱な地区施設の改善、生活利便施設及び地区防災施設の充実等が概ね図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な居住環境づくり ・近隣公園に残る緑地などの既存樹木の保全を図るとともに、ワークショップを活用した住民との連携、協働による公園整備を行うことにより、緑化重点地区にふさわしい潤いのある環境整備を図り、生活の質の向上を図ります。 ・土地区画整理事業の換地処分へ向けて、区域内の道路、下水道などの都市基盤整備を総合的に進めます。 ・公園の維持管理については、地域の活性化のため住民主体で維持管理を行う公園愛護会の設立を推進します。 ○良好な居住環境を支える安全性の充実 ・地域防災施設などの整備を図り、良好な居住環境を支える地域防災力の強化を図ります。